

# 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく事務手数料

R7. 4. 1

◆ 法第11条第1項又は法第12条2項の規定に基づく建築物エネルギー消費性能適合性判定に係る審査の手数料

● 非住宅部分

床面積 (㎡)	モデル建物法以外		モデル建物法	
	工場等以外	工場等	工場等以外	工場等
A < 300	242,000	26,000	94,000	22,000
300 ≤ A < 1,000	300,000	34,000	118,000	29,000
1,000 ≤ A < 2,000	383,000	46,000	153,000	41,000
2,000 ≤ A < 5,000	541,000	105,000	244,000	98,000
5,000 ≤ A < 10,000	663,000	154,000	316,000	147,000
10,000 ≤ A < 25,000	781,000	190,000	378,000	182,000
25,000 ≤ A < 50,000	889,000	234,000	443,000	224,000
50,000 ≤ A	1,105,000	323,000	572,000	311,000

● 住宅部分

床面積 (㎡)	仕様基準・併用基準以外		仕様基準		併用基準	
	評価書面なし	評価書面あり	評価書面なし	評価書面あり	評価書面なし	評価書面あり
戸建住宅						
A < 200	44,000	6,600	23,000	6,600	34,000	6,600
200 ≤ A	48,000		24,000		36,000	
共同住宅又は長屋住宅						
A < 300	80,000	11,000	38,000	11,000	59,000	11,000
300 ≤ A < 2,000	126,000	22,000	62,000	22,000	94,000	22,000
2,000 ≤ A < 5,000	207,000	47,000	109,000	47,000	158,000	47,000
5,000 ≤ A < 10,000	293,000	83,000	162,000	83,000	227,000	83,000
10,000 ≤ A < 25,000	566,000	132,000	292,000	132,000	430,000	132,000
25,000 ≤ A < 50,000	992,000	198,000	491,000	198,000	743,000	198,000
50,000 ≤ A	1,815,000	299,000	857,000	299,000	1,336,000	299,000

● 複合建築物（住宅及び住宅以外の両方の用途に供する建築物）

『非住宅部分』 + 『住宅部分』 の合計金額
------------------------

- ※1 「工場等」とは、工場、倉庫、卸売市場、火葬場その他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類する建築物をいう。
- ※2 建築物の新築、増築、または改築をする場合（※3に掲げる場合を除く。）は、当該建築物の床面積で、増築または改築をする場合は、当該増築又は改築をする部分の床面積とする。
- ※3 適合性判定を受けた計画の変更をする場合の床面積は、当該変更に係る部分の1/2で算定（床面積が増加する部分にあつては、当該増加する部分の床面積）
- ※4 軽微な変更に関する証明書を発行する場合は、その部分にかかる床面積の合計の1/2に該当する区分の手数料とする。（床面積が増加する部分にあつては、当該増加する部分の床面積）
- ※5 建築物省エネ法適合性判定手数料について、対象建築物が2以上ある場合は、建築物ごとに適合性判定手数料を算定し、合算した額とする。